

☆おもてなしの心 出迎え三步、見送り七歩 道徳感想 2020.6.3

おもてなしは相手のことを思うだけじゃなくて、相手のことを知って、相手のことを考えて、そして、行動することだと思った。おもてなしは日本のいい文化だから、たくさんの所で、これからもずっと続いてほしいと思った。

自分が相手のことを思って行動しても相手にとってすべてうれしいものではないだろうということを改めて気づかされました。相手のことを思って行動する前に、相手がしてもらえてうれしいことなのか喜ぶことなのかを考えることが大切だと思いました。

おもてなしって相手を思って行動することだけど、それが相手を不快に思わせたりもするんだなって思った。だから、相手を見て考えてちょどいくらいに思うことが大切だなと思った。相手を知ることで相手にできることが増えると思う。

今の授業で、おもてなしは相手に感謝の気持ちを伝える事も大事だけど、やりすぎることもあるから、相手の気持ちを考え、相手が今どんな気持ちかを考えることも大切だなと思った。もし、誰かが家などに来た時、相手を見て、荷物いっぱい持っているとか、天気いいから喉がかわいてそうだなとか考えて、その上で、相手が居心地のいい空間をつくってあげるとかがおもてなしかなと思った。

自分が思いやりと思っている行動が、もしかしたら相手にとっては迷惑だったりするかもしれないから、周りの人達、みんなが思う事とか全てが、自分と一緒に思わず、相手をよく知って、相手に合った思いやりをすることが大事だなと思いました。相手が喜ぶおもてなしができる人になりたいです。

まずは相手の気持ちを考えることが大切なんだと思いました。自分の気持ちを優先的にしても相手は嫌な思いしかしないと思いました。だから、相手の気持ちを優先して、行動するべきだと思いました。行動だけでなく、伝えることも大切だと思いました。私達がやっているトイレのスリッパを並べることは、次使う人へのおもてなしだと思いました。

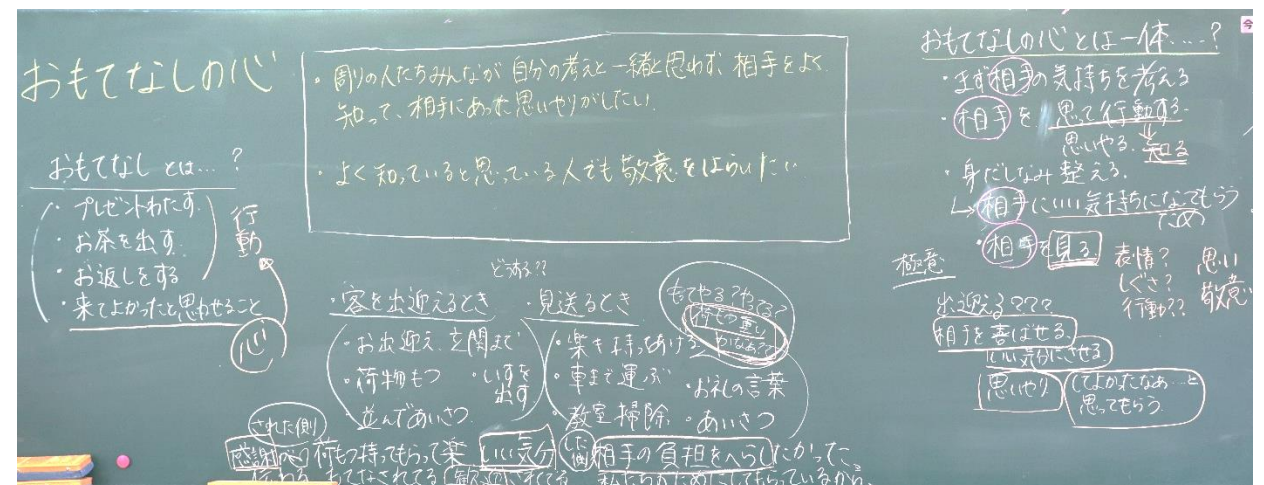
おもてなしは、相手の前でもてなすのではなく、相手の知らないところで相手を幸せにするためのことをして、その人が幸せそうな表情をしていたら自分も幸せな気持ちになる。日本人は外国の人よりおもてなしの心が強いが、それは日本人が相手のことを思う気持ちが強すぎるのかなと思った。今後は、相手のことを思い、知らないところから少しでも相手を幸せにすることができたらなと思った。

自分は相手を思っていることかもしれないけど、相手からはやりすぎじゃないって思われるかもしれないから、おもてなしをするときは、相手を見て、やりすぎないほどのおもてなしがいいかなって思います。

おもてなしで大切なことって何かな？って考えたときに、まず、おもてないする前に相手のことを見て、知ってから、思いやることが大切なんだなって思った。

自分がありがたいことをされた時は、もちろん感謝の気持ちを伝えますが、相手の人がおもてなしを受けてどう思っているか、などはあまり考えたことがなかったので、やっぱり人それぞれ考え方はたくさんあるのだなと思いました。私はよくおせっかいが過ぎることがあるので、気をつけるようにして、相手をよく見て感謝の気持ちを伝えたいです。人の心を考えることは難しいですが、おもてなしの心があればあるほど、良好な関係が築いていけるのではないかと私は思いました。

相手を見て、知るの大切だと思った。たしかに、自分の意志だけで、相手を思っても、お節介と思われる時もあるから、「おもてなし」って難しい。家でインターフォン押された時に「は〜い！」って反応することも「おもてなしの心」に入るのか？意外と身の回りには、普通気づかない「おもてなし」がたくさんあるのかもしれない。その「おもてなし」を探すのも「いいなあ〜」と感じた。



今日の授業であまり考えた事がなかった、おもてなしとは何かを考えることができた。相手のことを考えて実行することが大切だと思った。

相手に失礼の無いようにする。(例言葉づかいや身だしなみ) そうしたら、相手の方も良い気分で会話などが出来ると思う。

相手のことを思って行動することはいいことだと思っていたけど、相手のことをよく見て行動することも大切だと思った。おもてなしっていうのが詳しく知らなかったので、よく考えれてとてもよかった。相手のために行動するのは大事だと思うので、相手への敬意を持って行動したいと思った。そして、相手の気持ちもよく考えて行動したいと思った。

よく知っている人でも敬意をはらい行動しなければならないと思った。相手の目を見て、相手の行動などを考えていい気分させたい。

相手をもてなす時は自分が一方的にもてなすのではなく、相手が何を考えていたり、まずそこを、知るのが大事だと思った。おもてなしをした側もされた側もいい気分になれるようなおもてなしをしたい。

自分が自分よりも上の存在に何かしてもらう場合に、まず言葉遣いや身だしなみといった基本的なことから失礼がないようにして、何かしてもらっていることを自覚して行動しようと思った。今回の授業で得たことを活かしていこうと思った。

相手の気持ちを考えるのは、とても大事だと思った。相手が何かで困ってたら、何かしてあげることがとても大切。

相手を思う気持ちは大事だなと思いました。

相手へのおもてなしは、しすぎてもかえって、相手が不快におもったりしてしまうんじゃないかと思った。でも、おもてなしする側の私達が、相手を見て、相手の表面に出ていない気持ちを読み取って、行動するということを大切におもてなしをしたらいいんじゃないかなと思った。おもてなしは相手をいい気分させるためにあると思うから、あんまり度がすぎるのは、やめた方がいいと思った。

自分が良かれと思ってしている事も、相手にとっては迷惑だったりするかもしれないから、まずは相手を知ることが大切なんだなと思いました。私も部活でレッスンがあったりして、レッスンの先生をお出迎えしたり、楽器を持ってお見送りをすることがあるけど、先生は「そこまでしなくても」と思っているかもしれないので、先生の行動や表情などを見たりしてやりすぎないようにしないといけななと思いました。

おもてなしは相手を思いやる気持ちが大事だと思った。お客さんとかが来たときには相手を思いやって相手に喜ばれるようにしたいなと思った。

相手を思って行動するのは大切だけど、やりすぎたりすると迷惑になるから良い感じに行動しようと思った。

相手を思って行動することは大事だと思ったし、行動だけでなく、相手を見てやり過ぎてないか思うことが大切だと思った。

人は必ず、もてなす側ともてなされる側の2つを体験した事が1度はあると思う。その時に、自分がもてなされて、どう思ったり感じたかを利用して、もてなす側になった時に、何をどれくらいするのがベストなのかが分かってくると思う。感じ方とかは1人1人違うけど、「おもてなしをしたい!」っていう気持ちが相手に伝われば、それで十分なのかな...とかも感じた。普段「おもてなし」というワードで深く考えたことなかったけど、今回の授業で、各自違う事を思ったりするのが分かった。そうすると、ディズニーランドのキャストさんとかホテルで働いている人は、毎日相手のことを考えて、考えて、考えて、考え続けて、とても立派な仕事だなーとも思った。次そういった仕事をしている人と会ったら、しっかりと感謝したい。

相手のために動くということがすごく大切だと思うけど、それが逆効果だったり、怒らせたりしてしまうっていうことも考えるとへたに動けないなと思いました。

相手のことをよく知って行動に移す。相手が重い荷物を持ってきつそうにしていたら、持ってあげる。また、きつくもないのに持ってあげたりしても、相手がどう思うかが変わってくるから、まず相手のことを知る。

恐らく自分も気づかない内に「おもてなしの心」を気使っていると思います。今日の授業を通し、礼儀というものを私生活に常時身に付けておきたいと思いました。

日常生活でおもてなしも出来るけど、行動も気持ちも大事だと思った。私も人を思って何か出来るから、そういう心を持つのも大事だと思った。

相手のことをよく見て行動しないと迷惑になるから、これからはよく見て行動しようと思った。

自分も相手の立場になって行動することが大事だと思いました。感謝の気持ちを言葉だけじゃなく、行動で表すことも大事だと思います。自分も、おもてなしされた時、相手のしている行動がとても嬉しかったので、自分も相手に感謝しながらおもてなしをしようと思います。